

AUTOMATICA 2010

ファイナルレポート

第4回 国際オートメーション・メカトロニクス専門見本市

2010年6月8日～11日

ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場

2010年6月11日

AUTOMATICA 2010 - オートメーション業界へ大きなインパクト

Summary

- 世界113ヶ国からおよそ31,000人が来場
⇒ドイツ国外からの来場数・割合が
飛躍的に増加
- 出展社数は、世界42ヶ国から708社
- オートメーション業界をリードする役割が
さらに増大



Facts & Data

会期	2010年6月8日(火)～11日(金) 9時～17時
会場	ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場
主催	ミュンヘン見本市会社 (Messe München GmbH)
後援	ドイツ機械工業連盟 (VDMA) ロボット・オートメーション工業会
規模	44,000 m ² (=全4ホール)
出展社数	42ヶ国から708社 (うち、ドイツ国外出展社割合: 31%)
来場者数	113ヶ国から30,642人 (うち、ドイツ国外来場者: 9,870人)
主な出展品	組立・操作技術、ロボット、マシンビジョン、ポジショニングシステム、駆動技術、センサー技術、制御システム技術、安全技術、サプライ技術、ソフトウェア、サービス、研究・技術開発 など
併催プログラム	特別展示『サービスロボット・イノベーション』 ISR 2010 - 第41回 国際ロボットシンポジウム Robotik 2010 - 第6回 ドイツロボット会議 SAMPE 2010 - 先端材料技術会議 など
同時開催メッセ	intersolar EUROPE 2010 - 国際ソーラー技術専門見本市・会議 (6月9日～11日)
出展日本企業 (現法出展など含む)	(株)アイエイアイ、川崎重工業(株)、黒田精工(株)、西華産業(株)、セイコーエプソン(株)、(株)デンソーウェーブ、東芝機械(株)、ナブテスコ(株)、(株)ニッセイ、日本トムソン(株)、日本電産シンポ(株)、(社)日本ロボット工業会 - JARA / 日刊工業新聞社、パナソニック電工(株)、パナソニックファクトリーソリューションズ(株)、平田機工(株)、ファナック(株)、(株)ミスミ、三菱電機(株)、(株)安川電機、レイデント(株) ほか
専用URL	www.automatica-munich.com (英語、ドイツ語など全5ヶ国語)

30,642 もの来場数を記録した AUTOMATICA 2010 は、オートメーション業界の今後に多大な刺激を与えた。2010年6月8日～11日にミュンヘンで開催された国際オートメーション・メカトロニクス専門見本市は、有数の幅広さを誇るロボット・オートメーション製品を紹介、世界中から意志決定者・専門家を惹きつけ、業界をリードする役割がさらに増した。

ドイツ国外からの来場者が増加

来場総数の多さに加え、AUTOMATICA 2010 では世界 113 ヶ国から来場があった。来場総数の実に 32.2%がドイツ国外からの来場割合で、実数でも前回比 26%という大幅な増加を記録している。ドイツを除く来場数上位国は順に、イタリア、スイス、チェコ、フランス、スロベニア、米国、スペイン、英国、そしてデンマークであった。

来場者の高評価

独立機関 TNS infratest が行ったアンケート調査結果は、来場者の満足度の高さを如実にあらわしている。AUTOMATICA は業界を代表する専門見本市であると回答したのは、来場者の 88%にのぼり、92%は幅広い出展製品群に対し高評価を与えている。

Daimler 社プロセスエンジニアリング・シニアマネジャー Dr. ミハエル・チュルン氏もそのひとりだ。『イノベーションを知ることができる AUTOMATICA は、弊社にとって非常に重要である。というのは、AUTOMATICA では全てのオートメーション技術、そして開発の最先端を紹介しているからだ。多くの弊社従業員はここにやってくる。AUTOMATICA は弊社にとってまさに必要不可欠な業界専門見本市だ。』と総括している。

業界をリードする企業がふたたび一堂に

出展社に関するデータは、国際的にリードするオートメーション業界専門見本市 AUTOMATICA の重要性をさらに際立たせる。AUTOMATICA 2010 に出展参加したのは世界 42 ヶ国 708 社、全 4 ホール・44,000 m²に最先端技術・製品・ソリューションが一堂に会した。なお、ドイツ国外からの出展割合は 31%を記録している。出展社の満足度も非常に高く、前述のアンケート調査結果によると、出展社の 94%は AUTOMATICA 2010 を『良い～すばらしい』と評価している。また、96%が非常に良好なビジネスの雰囲気、77%が来場者の質に対し賞賛している。



主催・後援者の総括

出展社の多くは、厳しい年であった 2009 年に続く本年、そして未来の見通しを明るくもっている。これについて、ドイツ機械工業連盟 (VDMA) ロボット・オートメーション工業会専務理事 ティロ・ブロートマンは次のようにコメントしている。『現在、受注数が 2 ケタ成長を見せ、大盛況裡に終了した AUTOMATICA 2010 が業界に良いインパクトを与えてくれたおかげで、本年 5%としていたわれわれの成長予測を上方修正できる確信が得られた。市場は今、まさにダイナミックに動いており、これが継続すれば、2007/8 年に記録した業界最高の売上額レベルへの到達も速まる。AUTOMATICA 2010 では、《グリーンオートメーション》戦略構想が、業界にとって決定的な成長分野のひとつであると示された。というのは、エネルギー・資源効率に起因する挑戦、そして環境配慮型製品の経済的な製造は、インテリジェント・オートメーション技術の利用増によってのみ実現可能だからだ。』

ミュンヘン見本市会社 CEO 代理 ノルベルト・バークマンは、『ドイツ国外からの来場数増大は、AUTOMATICA が国際的にも重要な業界専門見本市であることを改めて示すものだ。出展社、VDMA ロボット・オートメーション工業会、そして弊社のグローバルマーケティング努力が報われ、大変うれしく思う。われわれの目標は、この提携関係をさらに良好にし、意志決定者が多数集結する、より国際色豊かな業界専門見本市とすることだ。AUTOMATICA 2010 は、業界の上昇傾向とビジネスを進展させる、まさに適切な時に行われた。』と振り返った。

ロボット・オートメーション業界の未来を示す AUTOMATICA

広範にわたるイノベーションを紹介する出展社に、来場者は感銘を受けた。というのは、多くの出展社が改めて AUTOMATICA を欧州そしてワールドプレミアの場として利用していたからだ。代表的な機関も、将来の明るい展望を提供する優れた研究結果を紹介した。

ドイツ宇宙開発事業団(DLR)ロボット・メカトロニクス研究所所長 ゲルト・ヒルツィンガー教授は次のように話している。『イノベーションのほとんど全てを見せ、開発周期もあわせている AUTOMATICA は、弊所にとってロボット・オートメーション分野最高峰の業界専門見本市だ。来場数は今回非常に多く、大変優秀な来場者が欧州だけではなく、米国、アジアからも参加していた。弊所は AUTOMATICA を、手術ロボットのような新たなアプリケーション分野を含め、産業界パートナーとの協力を強化するために利用している。』

Audi 社製造プラント企画部長 アルネ・ラカイト氏は、『AUTOMATICA で提供された幅広いテーマが非常に興味深い。ロボット開発のみならず、オートメーションの大部分がここで紹介されている。出展社も見事に応えている。』と評価している。

併催プログラムでは主に、将来のテーマ・展望があつかわれた。専門家、研究者そしてユーザーは AUTOMATICA フォーラムで議論し、あるいは「グリーンオートメーション」戦略構想のなかで、業界の環境負荷低減製造能力そして環境配慮型製品製造能力に関する情報を入手した。

プログラムの目玉は

- ◆ サービスロボット・イノベーション
- ◆ 世界で最も重要とされる3日間におよぶロボット会議 "ISR/ROBOTIK 2010"
- ◆ 軽量構造の挑戦と繊維複合技術が取り上げられた2日間の SAMPE 会議

次回 AUTOMATICA 2012 は、2012年5月22日～25日にドイツ・ミュンヘンにて開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.automatica-munich.com で



資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語 / ドイツ語)